



2024年5月14日

各位

会社名 株式会社 T B K
代表者名 代表取締役社長 尾方 馨
(コード番号 7277 東証スタンダード)
問合せ先 経営企画部長 佐々木 健太郎
(TEL 042-739-1473)

第15次中期経営計画経営目標の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月25日に公表しました第15次中計経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の最終年度の計画を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

評価指標	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期	
			2022年3月公表	今回修正
売上高	535億円	566億円	600億円	540億
営業利益	▲6億円	9億円	30億円	10億
営業利益率	▲1.2%	1.6%	5.0%	1.9%
ROE	▲7.5%	1.2%	8.0%	1.4%

2. 修正の理由

第15次中期経営計画初年度の2022年度において、世界的な資源価格の高騰、急激な円安の進行という外部要因に加え、外部顧客への価格転嫁の遅れという内部要因を受け営業利益赤字というスタートになりました。

折り返し点にあたる2023年度においては、重要テーマとして掲げていたプライム市場への上場維持を断念し、スタンダード市場上場の選択申請を行いました。各経営戦略・経営目標については当初計画を据置として取組んでまいりました。前述の外部要因については依然として継続しておりますが、北米事業の合理化改善・国内事業の経営統合の実行・価格転嫁の実行などの内部要因については確実に実行できたことで営業利益黒字を実現できました。

中期経営計画最終年度の2024年度においては、北米事業の黒字化実現・経営統合効果の最大化により経営目標の達成を目指しておりましたが、国内では各社バックオーダー解消と新型へのモデルチェンジ前の駆け込み需要が終息した事、海外ではタイにおけるローン審査厳格化等に伴う需要減により国内外共に減収が見込まれます。また、中国事業の回復も想定より遅く当初目標から大きく需要減となります。

以上を踏まえて、2022年3月に公表した2024年度の経営目標を引き下げることにいたしました。引き続き「企業価値向上の取組み」「新領域への挑戦」及び「ESG経営の取組み」を重点方針とし、各戦略を推進してまいります。また、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け通り取組んでまいります。

以上